

2026年2月25日

ベトナム社会主義共和国／遠隔支援により高収益農業経営を普及展開する
スマート農業経営モデル確立の実証事業（実証事業）
竣工式典を開催いたしました。

ニイヌマ株式会社
代表取締役社長 新沼 利英
本社 宮城県石巻市門脇字元浦屋敷 2-20

ニイヌマ株式会社（本社：宮城県石巻市、代表取締役：新沼 利英）は、2026年2月6日、ベトナム社会主義共和国／遠隔支援により高収益農業経営を普及展開するスマート農業経営モデル確立の実証事業（実証事業）で導入されたスマートハウスの竣工式典を、カウンターパートであるDien Bien省農業普及センターにて開催したことをご報告いたします。

※本事業は経済産業省の令和6年度補正グローバルサウス未来志向型共創等事業費補助金（小規模実証）*で採択された事業です。

ベトナム社会主義共和国における一次産業の低収益性など、経済社会的課題解決のため、日本企業が得意とする中小規模・高付加価値生産を実現する農業ソリューションと、遠隔指導による生産サポートを掛け合わせることで、経営改善や高収益なスマート農業経営モデルの確立の実現を目指し、実証を行うことを目的としております。

*令和6年度補正グローバルサウス未来志向型共創等事業費補助金
（小規模実証・FS事業）特設HP:<https://gs-hojo-web-fspoc.jp/index.html>

当社は、現地法人「NIINUMATOMOFARM CO., LTD」、Dien Bien 省人民委員会とともに、Dien Bien 省にてスマートハウスの竣工式典を開催いたしました。

式典には、Dien Bien 省側からは Dien Bien 省人民委員会副委員長、同省農業局長、同省科学技術局長、同省農業普及センター長などをはじめとした関連組織の方々30名ほどが参列、日本側からは、在ベトナム日本国大使館、農業・食品産業技術総合研究機構（農研機構）、株式会社 NTT アグリテクノロジー、日越大学、渡辺パイプ株式会社をはじめとした関係企業・団体 11 社 26 名の方にお越しいただきました。本式典では、在ベトナム日本国大使館からのご挨拶、株式会社 NTT アグリテクノロジーによる導入設備説明、Dien Bien 省人民委員会副委員長からプロジェクトへの期待と発展への思いをお話いただいたのち、導入されたスマートハウスの設備や育苗中の様子を視察いたしました。

本事業は日本発の農業技術やノウハウを活かして、高品質・高付加価値のフルーツトマト栽培を行うことを目的とし、生産者の所得向上や栽培技術向上、日本のスマート施設園芸技術の ASEAN 展開だけでなく、ベトナム社会主義共和国の食生活の豊かさ、食の安全の向上を目指し取り組んでおります。ベトナム紅河デルタ地域における農家の耕作地平均は 0.44ha、全農業従事者の 97%が中小規模農家であ

ることからも、日本の強みとなる中小規模スマートハウスを導入し、これまで取り組んできた栽培技術や環境情報等をデータ化、標準化することで、ベトナム地方部で最適な栽培をしていけるように、遠隔技術指導とスマート施設園芸の普及展開を行ってまいります。

—将来展望—

当社は、これまで日本の強みを活かした生産方式において技術研究を行い、安全かつ高糖度なフルーツトマトの栽培を中心に、高付加価値な農産物の栽培を行ってまいりました。食の安全、食の豊かさの実現や高付加価値、高品質化は継続して当社の大きなミッションとなります。そしてこれまでの研究成果や実績を活かし、高温多湿環境かつ栽培技術が乏しい国においても、スマート施設園芸技術を活用した高付加価値なフルーツトマト栽培を継続的に実現可能にしていき、将来的にはスマートハウスと遠隔栽培技術指導をパッケージとしたフランチャイズ農園展開を目指してまいります。

当プロジェクトは、農林水産省が推進する日本のスマート農業の ASEAN 展開において、注目されているプロジェクトの一つで、また、ベトナム社会主義共和国においても、農業 DX 政策を掲げる中で注目の取り組みとしてこれからの発展に大きな期待を寄せられています。また、日越農業協力中長期ビジョン Phase3 においても、日本国のスマート/デジタル農業、GHG 排出削減に関する技術開発・実証・普及、持続可能な農業食料システム構築のための人材育成等ビジョンに一致した取り組みとなっています。「民官連携」、「研究×ビジネス化」、「大手企業×中小企業」という様々な連携や掛け合わせを最大限活かし、日本の農業技術のグローバル展開を促進するモデルケースとして、ベトナムをはじめとした ASEAN 諸国への事業展開に向けて取り組んでまいります。

—事業概要—

事業名称：遠隔支援により高収益農業経営を普及展開するスマート農業経営モデルの確立の実証事業

事業期間：2025年9月1日～2026年8月31日（予定）

事業場所：Dien Bien 省（予定）

栽培品種：フルーツトマト（日本品種/正規輸入品種）

申請事業者/共同申請者：ニイヌマ株式会社/NIINUMA TOMOFARM CO., LTD

事業規模：約 7,500 万円（予定）



—ニイヌマ株式会社について—

商号：ニイヌマ株式会社

創業：1913年

代表者：代表取締役社長 新沼 利英

本社：宮城県石巻市門脇字元浦屋敷 2-20

事業概要：金物販売事業、福祉事業、LED照明事業、電気工事事業、組立代行・物流事業、海外事業

資本金：50,000,000円

—現地法人の概要—

社名：NIINUMA TOMOFARM CO., LTD

代表者：箕輪 佑耶

会社設立日：2020年7月17日

拠点：Mang Den High-tech Agriculture Area, Kon Plong Dist., Kon Tum, Vietnam

Goc Bang hamlet, Dong Khe commune, Van Chan district, Yen Bai province

事業内容：農産物の栽培・加工・販売事業、食品の輸出入事業

資本金：4,203,452,000 VND (182,600 USD)

出資者：ニイヌマ株式会社 45.45% 大和合成株式会社 45.45% NIINUMA VIETNAM 9.10%

サービスに関するお問い合わせ先

ニイヌマ株式会社 海外事業部 事業部長 箕輪 佑耶

TEL: +81-48-951-1041 E-mail: minowa@niinuma.jp

※本プレスリリースに記載されている社名、サービス名などは、各社の商標あるいは登録商標です。